



2019年 9月号  
令和元年

No219

発行 / 日本ベトナム友好協会本部 〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-32-19 TEL 03-5981-8795

制作 / 日本ベトナム友好協会茨城県連合会 〒310-0022 水戸市梅香2-1-39 茨城県労働福祉会館5F TEL 029-224-3500

# ベトナム独立74周年祝う

## 大使館で記念レセプション

### 中川会長代行ら出席

ベトナム独立74周年を祝う記念レセプション（駐日ベトナム大使館主催）が8月30日、東京・渋谷のベトナム大使館で開催されました。当連合会からは中川喜久治会長代行、小野昭夫副会長、湯本祐一関彰商事取締役、中川喜夫中川ヒューム管工業取締役らが参加し、本県からは宇野善昌副知事、登坂文貴県民生活環境部国際交流課係長、白土智史総務部知事公室秘書課主任が出席しました。



ナム駐日大使（右から3人目）と懇談する中川会長代行、小野副会長ら

式典には内閣府や外務省などの政府関係機関、地方自治体、各国大使館、各種友好団体関係者など約250人が招かれ、二階俊博自民党幹事長（日越友好議員連盟会長）をはじめ山下貴司法務大臣、山口那津男公明党代表、山本順三国家公安委員会委員長、片山さつき内閣府特命担当大臣ら多数の国会議員も参加しており、日本とベトナムの密接な関係を感じ取ることができました。

開式に先立ち尺八師範による日本とベトナムの民謡の生演奏、開会式でのベトナム人歌手による両国の国歌独唱など、例年のない演出がされていました。主催者としてはいさつに立ったヴァー・ホン・ナム駐日大使は、日本語でレセプション招待者に歓迎の言葉を述べたり、英語で著しく発展する経済状況や国際的地位の高まりなどベトナム情勢について統計資料を基に伝えたり、日本との戦略的パートナーシップを今後ますます深化拡大させていきたいなどと意欲的にスピーチを行いました。

当連合会一行は本県関係者とともにナム駐日大使夫妻や政府関係者といさつを交わし親しく懇談をしました。さらに古田元夫日本ベトナム友好協会長をはじめとする招待者とも和やかに言葉を交わしながら親睦を深めていきました。

「戦略的パートナーシップ  
さらに深化拡大へ」意欲  
ナム大使



40 人が参加し熱心に受講

# ベトナム向け食品輸出の可能性探る

## ジェトロ茨城がセミナー

### 40人参加し、熱心に受講

#### 県連共催、山口会長あいさつ

ジェトロ茨城主催の「ベトナム向け日本産食品輸出の可能性セミナー」が8月29日、水戸京成ホテルで行われ、共催として茨城県連合会が協力しました。

あいさつに立った山口やちる会長は「すでに茨城県には6500人を越えるベトナム人が実習生として、あるいは留学生として働いてい

る。また県内の様々な企業がハノイやホーチミンに事務所を構えている。ベトナムの現状を知り、農産品の販路拡大に向けてチャンスをつくってほしい」と話

しました。ジェトロ茨城の木ノ本知弘所長は県連の参与でもあり、各地域で精力的にセミナー等を行っており「ぜひ直接ベトナムの情勢について話を聞き、各企業や市町村の取り組みにつなげられたら」とあいさつしました。

講師はジェトロハノイ事務所のディレクター阿部智史氏で、2015年よりベトナムに勤務しており、ベトナムの北部、中部、南部の食文化の違いや、ベトナムの人が好む商品の在り方、提示の仕方をはじめ、今日のベトナム事情を詳しく説明しました。

定員30人に対して、40人以上が参加するなど、それぞれが新たな取り組みに向けての熱心なセミナーとなりました。

## 今後の連携など要請

### 山口会長ら筑波大学を訪問



永田学長に連携を要請する山口会長、中川会長代行ら

茨城県連の山口やちる会長、中川喜久治会長代行、飯島洋一副幹事長らは9月10日、つくば市の筑波大学

を訪問し、永田恭介学長、キャロライン・ペントン副学長、大根田修教授らに新体制発足のあいさつを行う

とともに、今後の連携の要請をしました。

筑波大学及び永田学長は、日本ベトナム友好協会本部長で日越大学の古田元夫学長とは日越大学設立当時

から協力関係にあります。また、筑波大学は2009年8月6日にホーチミンオフィス

を設立。学术交流のための情報収集・支援、優秀な留学生の確保、交換留学・

インターシッピング・サマースクールなどの学生交流プログラムの支援を行っており、現在も大勢のベトナム人留学生が筑波大学で学んでいます。「ぜひ、学生支援やベトナムとの活動を連携して行いたい」と永田学長も熱く語りました。今後はお互いに様々な交流を図っていく予定です。



一般急性期194床、地域包括ケア30床  
2次救急指定病院、地域がん診療病院  
茨城県鹿嶋市厨5-1-2 TEL0299-85-1111

私たちは友好親善の懸け橋  
機関紙の発行を応援します

用地総合補償  
コンサルタント **三陽用地** 株式会社



SANYO YOUCHI

代表取締役

濱口 稔

総合補償士 補償業務管理士(7部門) 土地改良補償業務管理者 測量士補 宅地建物取引主任者

本社：〒300-0048 土浦市田中3丁目8-32(土浦学園通りビル)  
TEL 029-826-9143 FAX 029-824-4331  
E-mail: eigyo@ibasan.co.jp  
仙台支店：〒984-0065 宮城県仙台市若林区土樋1丁目11-10内田ビル203  
TEL 022-797-5081 FAX 022-797-5082  
東京・取手・牛久・石岡・三郷・柏・いわき営業所

復興応援団

「ベトナム枯葉剤被害者支援の旅」に参加して

この夏、滋賀大学や立命館大学の教授を始め、日本ベトナム友好協会全国常任理事の鈴木元さんが中心となり活動しているオレンジ村(ベトナム枯葉剤被害者)支援日本委員会の旅に参加しました。そして痛切にわかかったことは、ベトナム戦争時に散布されたダイオキシン入りの枯葉剤が原因と考えられる被害者が300万人いるという事実でした。

(村田みのり県連事務局長)

■ボランティアが支援活動

ホーチミンにあるキークワン寺には1歳から50歳までの孤児が240名暮らしており、そのうち17



多くの子どもたちが枯葉剤被害で苦しんでいる(キークワン寺)

0名が障害者で、その大多数が何らかのダイオキシン被害の影響を受けていると言われ、脳性麻痺、ダウン症、水頭症、視覚障害を持っており、寝たきりの子どもも大勢いました。キークワン寺のハン副主任自身も貧しく、苦勞しているため、全て寄付金を利用して孤児たちの面倒をみます。世界中から大学生をはじめ

いまも300万人が被害に

多くのボランティアが集まって活動支援を行っており、ベトナムの人々から寄付された米でお粥を作り、ボランティアの手を借りて障害者一人ひとりに食べさせるだけでも、数時間かかります。床に寝転んでいて歩くことができないう子を抱き上げると、私の顔を見



ドクさんと筆者

にっこりと笑うその姿に、涙が止まらなくなりました。誰かの助けを必要としている子ども達が、確かにここにいるのです。

■声も出せない大勢の人

ダイオキシン被害者のグエン・ドクさんはシンポジウムで「自分が今生きているのは大勢の日本人たちの支援や、ツーズー病院のみんなが家族のように接して治療に当たってくれたおかげだ。また、亡くなった兄が自分の心の中にいて励ましてく

も参加し、地域、国、政府に協力を求め、やっとこの活動がスタートしたところです。

■自立めざし「オレンジ村」建設

ベトナム全人口9000万人強の内、被害者は600万人、内枯葉剤が原因と考えられる障害者は300万人います。障害者ならびに障害者を抱え介護にあたっている家族の多くが貧困にあえいでいます。ベトナム政府ならびに枯葉剤被害者の会は、障害者に応じた職業訓練を行い、できる限り多くの障害者が就労し自立できるよう治療・リハビリテーション・職業訓練・共同作業・療育を行える施設「オレンジ村」建設を進めています。現状は厳しいことがわかりました。

私個人に何ができるのかと問われると厳しいことかもしれませんが、声も出せずにいる大勢の被害者としつかりと向き合えねばと思われ、夏となりました。

オレンジ村支援日本委員会

京都市中京区河原町三条北東角早川ビル四階 国際環境整備機構気付 075-2541-0061

△募金▽京都銀行洛西支店(店番) 普通4025589 ススキハジメ

社会貢献をすすめる若手企業家の中にもオレンジ村建設支援を全面的に打ち出し、協力を表明している社長



株式会社 中山敬二建築設計事務所 設計・企画

一級建築士 中山 敬二

水戸事務所 〒310-0841 水戸市通門町2149-2 TEL 029-224-3677(代)

FAX 029-224-3678

http://www.nakayama-sekkei.com/

E-mail:nk\_ao@syd.odn.ne.jp

私たちは友好親善の懸け橋 機関紙の発行を応援します



保温・保冷・板金・塗装

株式会社 城光断熱

〒300-0011

茨城県土浦市神立中央5丁目7番21号

TEL 029(831)1354(代表)

FAX 029(831)3509

E-mail:jokoh@trust.ocn.ne.jp

代表取締役

小澤 作光



# 第23次ベトナム友好訪問団参加者募集

歴史の都・フエやホイアンなどめぐる

11月20日～11月25日の6日間の旅

茨城県連合会は、11月20日(水)～25日(月)の6日間の旅「第23次ベトナム友好訪問団」の参加者を募集します。

今回の訪問団は「青少年・若者国際交流活動」に募集した学生達とともにハノイ・フエ・ホイアン・タナンの各都市を訪れます。

首都ハノイではホーチミン廟などを見学。フエではフエ外国語大学と子ども支援センターで文化交流をします。

また、フエの王宮観光、ホイアンの名物料理、タナンの大聖堂見学や市場散策などを楽しみます。

◇ 会費は約15万円を予定しています。

詳しくは、村田みのり事務局長(携帯090-4591-1478)まで。



観光客でにぎわうホイアンの街(22次訪問団撮影)

- 甲子園青春燃ゆる終戦日
- 八月のポスト浮き浮き友の便
- 反核は民の声なり梅雨あける
- 暑中見舞平和求めて筆をとる
- 西瓜割り一筆書きで夏さらば

茨城県連顧問 人見 章太郎

今月の俳句



## 活動をパネルで紹介

市民に国際交流紹介する「国際交流団体活動紹介展示」(水戸市国際交流協会主催)が9月7日～10月6日まで、同市備前町の国際交流センター2階ロビーを会場として開催されており、当連合会は水戸市に拠点を置く様々な国際交流

団体とともに活動状況をパネルにまとめて展示しています。

今回で17回目の展示になる当連合会は「ベトナム政府からの友好勲章受章」「東南アジアの技能実習生や地域の人々と協力して取り組んだ清掃ボランティア活動」「青少年若者訪問団の訪越」「青年部が実施したベトナム人留学生らとの小学校での国際理解教室」「フエ外国語大学でスピーチコンテスト」「新体制が発足した第51回総会」などの様子をポスターにして掲示したほか、当連合会入会案内パンフレットなど資料も展示しています。

機関紙「日本とベトナム」  
茨城県版広告掲載のお願い

年間12回セットで3万円

掲載の申し込みは茨城県連事務局へ

☎ 029-224-3500

私たちは友好親善の懸け橋

機関紙の発行を応援します



株式会社 高 竜 組

代表取締役社長

高 橋 竜 治

〒311-0111 茨城県那珂市後台2306-12  
TEL 029(295)7177 FAX 029(295)7155  
URL <http://www.takaryu.co.jp>  
E-mail [t-ryu@takaryu.co.jp](mailto:t-ryu@takaryu.co.jp)



土地・建物総合コンサルティング

株式会社 つくばパブリック

代表取締役 齋 藤 忠

茨城県知事免許(8) 第3741号  
〒305-0051 茨城県つくば市二の宮3丁目17番地の6  
(筑波研究学園都市)  
TEL: 029(855)6699(代)  
FAX: 029(855)6698  
携帯: 090-3149-2195  
E-mail: [tukubap@mail1.acccsnet.ne.jp](mailto:tukubap@mail1.acccsnet.ne.jp)



社会福祉法人 二十一世紀会

理事長 樋 口 宗 治

〒311-4153 茨城県水戸市河和田町長谷原4405番15  
電 話 029-306-9920  
FAX 029-306-9921  
〒319-3114 茨城県常陸大宮市野上1788-1  
電 話 0295-55-9551  
FAX 0295-55-9552

